

「有難う!」「ごめんなさい!」

観音経一節にガンジス川の砂粒の六十二億倍に上る程の無数の菩薩の説かれる、あらゆる善き教えを聞いて感激を新たにし、心を尽くして善美の衣食住に関わり一切を奉げて、その菩薩達にお礼を表現する者の功德はどれ程のものであると思つたと釈尊がおたずねになったのです。すると、無尽意菩薩は、「それは非常に大きな功德で御座います」と答えたと。すると仏が申すには、「観世音菩薩(即ち世間の人々の苦悩を聞いて、悩みに応じて三十三身に身を変じださる威神力者)の教えを聞いて、



観音菩薩坐像

唯の一時でも『ア、有難い』と礼拝して、感謝の供養を申し上げる者と、先に言った無限の菩薩に供養する者と比べると、この二人の幸福は正等にして異なることはない、同じである。その功德の大なることは百千萬億劫の間、その功德を数え上げて、も言い尽くすことが出来ない程で、観世音菩薩の教えを身に対して

実践するものはこのように無限の御利益を得ることが出来るのだ」といわれたのであります。「法華経解釈・谷口雅春著二百七十八頁」
唯の一時でも『ア、有難い』と礼拝する事の素晴らしさ、選り好みのしない感謝の何よりも勝ることを如実に物語っています。

一九八七年上場前、倒産半年後四国徒步巡拝に出発、雨の中を野宿、見かけは普通の巡礼さん。突然の巡拝決行に巡礼のしきたりを知らない私は、実相円満完全を一心に唱行しながら徒步巡拝で満願。その間、一日が無事終え疲れた体を横にした時、両親は勿論、一切への感謝が涙と一緒に沸き出でる、声を最大限大きく、有難う!と叫ぶ声が山彦で帰ってくる、「有難う!」。

観音経の一節に「衆生、困厄被りて、無量の苦、身に逼(せま)らん、観音妙智力は、能く世間の苦を救いたまふ」唱えてここまで来た時、無量の苦をなめた経験のあるものは声がおのずから高調せずにはいない。今でも何かしら大いなるものに触れる思いがする。観音経はこれまで七難二毒十一難とか色々な災難に会った時に、念彼観音力によって消散解脱する道を具体的に説いてきたものを、「ご」でひっくりかえり、一つに詩にまとめたものとみてよいでしょう。

一心の「実相円満完全」唱行の徒步巡拝、一日の終わりに「有難う!」の感謝

が出来ると必然的に「許して下さい!」の懺悔の言葉も出てきました。

観音妙智力は、矢張り自己責任の、自己反省、懺悔した自己否定の上にはじめて顕あらわれるものであって、ここまでこのお経を味読して来て、大切な事は尚、運がわるい、あの人がわるい、社会がわるいからだ、困厄の原因を外に置いて、これを責める者には、妙智力は働かない。釈尊御在世中から、自から信者と唱えられた、仏祖伝来のものと言われている。

我昔所造諸悪業 皆由無始貧瞋痴
従身口意之所生 一切我皆懺悔

自分が昔、遠い過去に造ったもろもろの悪業は、皆、無限の過去、自分の生まれる以前の貧瞋痴に由るものである。その三毒によって、身と口と意が三毒を生じ来たものであるから、その一切を、御仏の前で今すべて懺悔すると誓う。懺悔する事によって、心も身も清浄になる。その清浄な心の中に、観音妙智力が顕われる。

私達が日常の生活で家庭で企業内で社会で、「有難う!」「ごめんなさい!」の言葉が素直に交わされる時に観音妙智力が必ず顕現され新たな出発が出来るのです。毎夕、観音経の誦読の度に、お大師さまに救われた徒步巡拝を思い出さずにはいられません。

「我が心を空しくして 御仏の御心に従い奉る」 合掌

幸せライフのお手伝い!

総合建設業

株式会社 酒井技建

代表取締役 酒井 武 義

〒640-0416

和歌山県那賀郡貴志川町長山 277-68

TEL(0736)64-6776 FAX(0736)64-8908

皆さんのスーパー



株式会社 みち屋

代表取締役 道畑 勇

本 部 和歌山市岩橋729番地の6

TEL (0734)73-4197

FAX (0734)72-4519

松 島 店 和歌山市加納246番地の1

TEL (0734)74-3500

貴志川店 那賀郡貴志川町大字北山517番地

TEL (0736)64-7020

子供はなんでも知っている

子供はなんにも知らない

と人々は思いこんでいる

そして父母やえらい人はたちは

何とことか知っている

だが、私はあなたに言おう

それは逆なんだ、全く逆なんだ

なんにも知らないのは父母なのだ

偉い人たちののだ

すべてを知っているのは

子供たちなんだ

なぜなら彼らは

手垢のつかない無邪気さを知っている

それはすべてを知っていることなのだ

高野山大学名誉教授田中千秋著作講

話集に子供好きな私に目のとまつた文

章を「紹介させて頂きます。」

引用文：

「く幼い時は父母も祖父も隣人もな

い、自他の区別もない、やがて隣人より

祖父がよくなったり、父より母がよく

なるのを人見知りという。近頃も父親に

なつかなかつた幼児が投げ殺されるとい

う事件があつた。父より母という分別が

命取りになつたのである。大人は、みな

人みしり或いは分別の世界に生きていて、

自分の利益になるかならぬか、いつもそ

れを考え、そるばんのあつた人とは進んで

交わるが利益にならぬ人はかえりみ

ない。しかしこんなにしていてもなお貧

しく生きかねている人は多い。赤ん坊は

生かされている。折に幼児を道づれにし
て自殺する大人があるが、この親の誤り
は自分より幼児は無力だと思ひこんでい
る点である。これはむしろ逆で、大人は不
徳だから生かされないが、幼児には徳が
あるから生かされると思う。徳というの
は変なそるばんをもたず、自他親疎の別
がないということである。いつも天地と
一つ、世界と一つになつていっているこ
とである。お大師さまは、かの身即ちこれ
此身、この身即ちこれかの仏身即ちこれ
衆生の身即ち仏身なり。不同にして同な
り、不異にして異なり」といわれた。

天地と我と本来同根一体である。これが
分かるのが「覚悟」であり、いたずらに取
捨分別して六道輪廻する、その根源にあ
るのが根本煩惱である。大人は自分を守
ろうとしてかえつて貧しくなつたり、人
間関係にも苦しんでいる。倒れまい倒れ
まいとしてかえつて倒れる。しかし幼児
は自分だけを守ろうとも思わぬし倒れて
なるものかとも思わない。八方破れであ
りはじめから倒れているようなところが
ある。倒れている者には倒れる心配はな
い、安泰これに過ぎる者はないのである。

我が家の家訓 本多家

以 勢 交 者 勢 傾 則 絶

以 利 交 者 利 無 即 散

以 誠 交 者 終 生 不 変

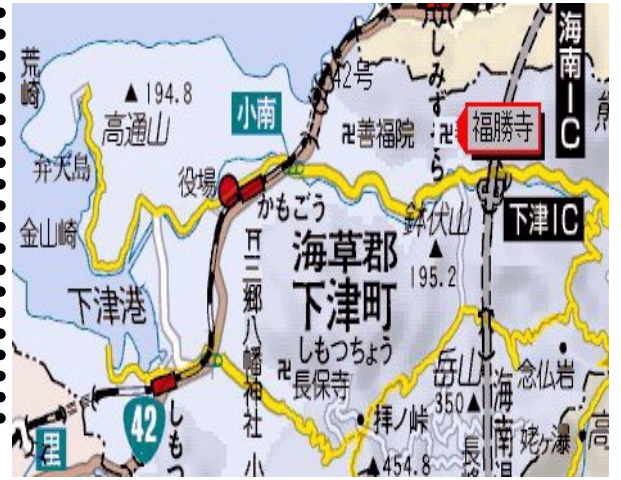
意識：力で交わる者は力が傾けばそく絶たれ

る。利で交わる者は利益が無くなれば直ちに

散る。誠を以つて交わる者はその関係は一生

涯不変である

元明治神宮宮司・海軍大将有馬良橋 作詩



仏教小話 (旦那、温う御座います)

寛政の頃、京都に因縁之食といつのが
いた。彼はどんなことがあつても、怒
らず、愚痴をこぼさず、ただ「因縁で
ございます」とだけ言つた。ある日に
し六条新町の近江屋主人が酒に酔つて
夜更けに帰つてきた。主人は何気なく
軒下に小便をたれた。丁度そこに因縁
乞食が菰(まこも)をかぶつて寝てい
た。彼は頭の上からぬくい小便をかけ
られたので、ひよいと起きて座り、「だ
んな、温うございます」と少しも割ひ
れず、静かに言つた。近江屋はびつく
りしてひどく恐縮したが、乞食は「は
い、因縁でございます」と重ねて言つ
た。近江屋は、小便をかけた代わりに
もしお前がわしより先に死んだら、盛
大な葬式をしてやるから」と言つた。

LEC レック
ミヤタケ
LIFE of ELECTRIC COMMUNICATION

有限会社 **ミヤタケ**

代表取締役 **宮下隆博**

〒640-8329
和歌山市田中町4-119
TEL(0734)22-2327 FAX(0734)36-5598

JAPAN MEDITECS

人に優しい音声発生装置!

有限会社 **日本メディテックス**

代表取締役 **山口昭昌**

〒641-0054
和歌山市塩屋5丁目5番43号
TEL(0734)46-2009 FAX(0734)46-3696

乞食はいつも暗いうちに起きて、西本願寺本堂の階段の下にひざまづいて勤行が終るまで一人で合掌して念仏していたと言った。

しばらく経って西六条の路頭で乞食が死んでいるというので、近江屋がかけつけてみると、果たして因縁乞食であった。彼は菰(まこも)の上に和やかな顔で微笑を浮かべて死んでいた。近江屋は約束通りその夜七条の焼場で火葬にした。翌朝、店のものが骨を拾いにゆくの忘れていたところ、焼場の者が走って来て、大変なことである、早く来てくれと言ったので、行ってみると、灰は美しい紫色になっていて、白骨はすべて水晶のようにすき透っているではないか。白骨があまりに美しいので、近江屋は勿論、このことを知った周囲の人々は、厚く供養して、水晶のようなお骨を、皆持ちかえって内仏におまつりしたという。この因縁乞食は白隠級の悟りの境涯に遊んでいた人であるまいか。

仏教用語

- 困厄(こんやく)：災い、災難等の原因。
- 念彼観音力(ねんびかんのりき)：観音の力を念ずる。
- 観音妙智力(かんかんにみょうちりき)：観音の素晴らしい不思議な力。
- 貧瞋痴(とんじんち)：五欲の対象に執着する迷い。貧愛、貧欲。
- 六道(ろくどう)：地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天の六つの世界。衆生がその行いによって生死を繰り返す迷いの世界。

山菜料理

(2)

精進料理を基本に日常生活に取り入れたい考えて畑や境内や近くの山で採集した山菜を素材に考えます。



ドレッシング素材



サラダ

美味しい手作り ドレッシング

このドレッシング使った料理にはサラダは勿論、サンドイッチ、コロケ 時には焼肉のソースにも合います。

是非皆さんお試しください。

材料(600cc・3カップ分)ミキサー(600cc)1台

- トマト.....1/2個
- りんご.....1/3個
- たまねぎ.....1/2個
- ニンニク.....1個
- ローリエ粉末.....少々
- コショウ.....少々
- サラダ油.....100cc
- 橙ミカン酢.....200cc
- (又はレモン汁(1/2個分)を普通の酢に入れる)
- 市販マヨネーズ100cc
- 塩.....少々
- 砂糖.....小匙3杯

- 作り方**
- A: りんご、トマト、たまねぎ、ニンニクを適当に切りミキサーに入れ電源を入れる。
 - B: 電源off状態でサラダ油、お酢、マヨネーズ、追加挿入、
 - C: 電源off状態でコショウ、ローリエ、塩、砂糖を入れ、ミキサー電源入力最終仕上げ完了

碩峯の写経・法話

四月度

- 一、写経会
四月十日
午前十時～十二時
(会費・千円)

一、法話会

- 四月十日
午後二時～午後四時

五月度

- 一、写経会
五月一日
午前十時～十二時
(会費・千円)

一、法話会

- 五月一日
午後二時～午後四時

福勝寺行事案内

編集 後記

マザーテレサの言葉

祈りは信仰心を深め 信仰は愛を育む
神戸の震災で我が家が全壊 二年間仮設生活、新築でやっと掴んだ幸せ、でも最愛の妻と死別、現在七十一歳で、九十三歳高齢の母親の介護に追われる親子二人の生活をされている信心深い齋藤敏彦さんからの便りに何時もマザーテレサの言葉を思い出す。毎日の朝夕の勤行・御祈祷にお会いしていない齋藤マキさまがお元気になさっている姿が浮かびます。敏彦様本堂に有難う御座います。既に両親を見送った私には親子の関係を越えた人の道」を学ばさせて頂いております。合掌